

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	衣食住の科学				
担当者氏名	富井 和美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

学習指導要領に基づき「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「c消費生活・環境」分野の科学について学ぶ。家庭科における主体的・対話的で深い学びができるよう実験やグループワークを取り入れアクティブラーニングを行う。

《テキスト》

「食べられる」科学実験セレクション サイエンス・アイ新書
SBクリエイティブ株式会社

《参考図書》

「わたしたちの家庭科5.6年」開隆堂 文部科学省検定教科書

《授業の到達目標》

家庭科を指導する上で必要な科学的知識と技能を身につける。家庭科の指導内容の科学的根拠を理解する。家庭科の内容を科学的に理解するための実験、実習の計画を立てる。

《授業時間外学習》

指定された内容について予習をして授業に臨む。授業内容の科学的根拠を先行研究から学習してレポートを提出する。実験、実習の結果と振り返りを提出する。

《成績評価の方法》

授業時の課題（レポート、作品、小テスト）.....40%
時間外学習レポート.....30%
授業参加度.....30%

《備考（教員経験の有無）》

この教科は高（家庭科）、小・中・高（特別支援）の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	本授業の概要説明 家庭科の指導内容	学習指導要領が目指す新しい家庭科の授業と本授業の概要
2	衣生活と科学1 繊維	衣服の組織（織り物、編み物）と繊維の実験
3	衣生活と科学2 界面活性剤	衣服の取り扱い表示、界面活性剤の実験
4	食生活と科学1 栄養	栄養と実験 デンプン、ゼラチンのゼリー化の実験
5	食生活と科学2 安全	食品添加物と実験 色素、発色の実験
6	住生活と科学	住生活と科学（建築基準、間取り、動線、換気、健康被害）
7	衣生活と科学3 染色	染色の科学とタマネギを使った染色実験
8	衣生活と科学4 技法	手縫いの技法（さしこ、刺繍）
9	食生活と科学3 だし文化	和食のだし、洋食のだし、中華のだし うま味の実験
10	食生活と科学4 魚の調理	魚の調理の基本、白身魚と赤身魚、実験
11	消費者教育	キャッシュレス時代の消費者教育、環境に配慮した消費（エシカル消費）
12	実験の計画1	環境に配慮した生活の提案（実験計画）
13	実験の計画2	環境に配慮した生活の提案（実験）
14	生活とICT	生活におけるデジタル機器の扱い（IoT家電）と未来の生活
15	衣食住の科学のまとめ	衣食住の科学のまとめと小テスト